

このウキだよ!

あそこの潮目

# 沖へ引き出されるサラシ その先端に仕掛けを乗せると 沖の潮目で“ゴツン”のアタリ!!

「立春」を挟んだ2〜3週間程度は、年間を通じて50cm UPの丸々とした、乗っ込み前の抱卵グロに出会える最大のチャンスであると思ふ。

南さつま市坊津町久志「カツメ」

## 「クロは内、外道魚は外」

予報は晴れ、風は北東のち南東とのこと。本誌アドバイザー野間氏と釣行先を南薩久志に決定し渡船「松風」さんにお世話になることに。

このところ、連日50cmオーバーのクロが仕留められている絶好調の久志である。期待を大きく膨らませ臨んだ。

朝7時出港、力強いエンジン音とともにアクセル全開心地よいGを感じる、面舵を切り全速走行。私たちが呼ばれたのは2番目で、「カツメ」へと渡された、船はベタ付けされ安全に渡礁できる。釣人にとっては大変有難いことである。

暫く、野間氏とともに瀬の形状や瀬の状況をうかがい、ポイントを船付け(A)と大瀬向きの先端(B)とした。満潮はAM11時半、上げ瀬が半2本程沖を大瀬方向へ流れ、足元は大きなサラシが発生し上げ瀬とぶつかる場所にいい感じに潮目ができている。

早速準備に取り掛かる。撒き餌は、オキアミ1角に対し赤アミ半角と集魚剤はマルキユーの「爆寄せグレ」と「アミパウダグレ」それにパン粉2kgを半分ずつ2回に分けて使用する。

釣り座は、ジャンケンに勝った野間氏が船付け(A)、私は大瀬向きの先端(B)に構え2時間交代とした。